



World Rugby Global Law Trials

日本協会説明資料（第3版）

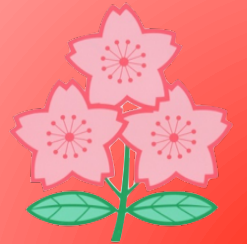


2021/8/31

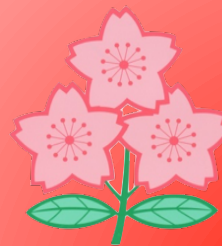
（公財）日本ラグビーフットボール協会 技術部門

目的と展開

- ・ 2021年8月1日より、5つの項目について実施する。
- ・ いずれもプレーヤーウェルフェアを強化することを目的としている。
- ・ 試験的に実施した結果をもとに、来年正式採用するかを決定する。
- ・ 第2版からの更新については赤文字などを使って追記、訂正している。



50/22



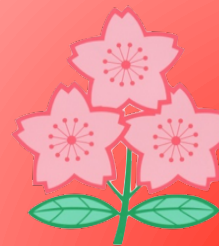
安全性

- バックフィールドにプレイヤーを割かなければならなくなることで、ディフェンススピードを遅くしたり、コンタクトを減らしたりして、危険なコンタクトを減らすことができるのではないかな。



競技規則

- 自陣から蹴ったボールが直接でなく相手 22m 内でタッチにでた時には、蹴ったチームのラインアウトで再開する。



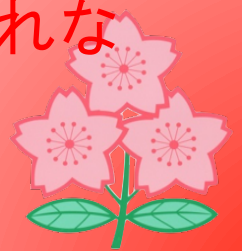
「自陣からキックした」

自チームのパス、キック、ノックなどで自陣に戻した場合には、50/22ではなく通常のキックとして扱う（直接でなくタッチになれば地域は得られるが、相手ボールでのラインアウト）

ただし、自陣に戻したのち、タックルが起きる、ラック、モールが形成されれば、50/22が適用され、キックしたチームのラインアウトの再開になる。

22m以内からキックしたボールが直接タッチに出ても地域を得ることのできる場合と同様に考える。

キックオフ、または、いかなる形であれ試合再開のキックには適用されない。



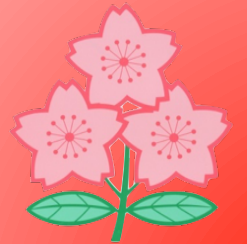
50/22（WR回答）

質問;ハーフウェーライン中央でのスクラム(キックオフのオプションによる)から再開された場合、50-22は適用されるのか。

(ハーフウェーラインからの再開は自陣での再開と考えるのか)

回答;はい。適用されるべきであり、50:22はハーフウェイ上のスクラムにもあてはまります。

ハーフウェイライン上で行われるスクラムでは、両チームともにボールを自陣に持ち込んだことにはならない。



50/22（WR回答）

質問；

フリーキックからタップキックすることなくキックし、ボールが直接でなく22mの相手側で転がり出た場合、50-22は適用されないか？

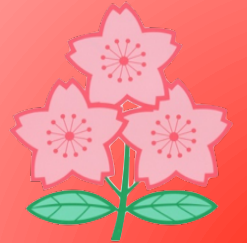
フリーキックでタップキックしてからキックした場合は適用されるか？

回答；

担当者グループと協議した結果、50:22は、フリーキックからまずタップキックすることを必要とすることなく、直接成し得えます。

これまでの50:22の試みのすべてにおいて、このことはまだ起きていません。

タップキックの有無に関わらず、適用されます。



50/22 (JRFU共有)

質問；

(1-1) ハーフウェイラインを踏んでキックして、そのボールが敵陣22m地域内のタッチを間接的に切った(出た)場合は50:22の適用となるか否か。

(1-2) ハーフウェイライン中央のスクラムにおいてボールを所有するチームがスクラムを押し、ボールがハーフウェイライン上、もしくはハーフウェイラインを越えてから、スクラム後方にいる自チーム選手にパスした場合、どちらの場合も相手陣から戻したことになるのか。

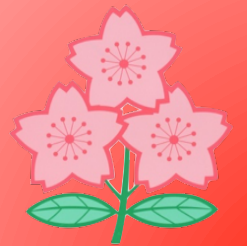
(1-3) ハーフウェイでラインアウトを選択した場合も50:20が適用と考えて良いか？ただし、ラインアウトモールなどで前進して一度敵陣に入った場合を除く(押し戻された場合も不可)

回答；

スクラムやモールの全てのプレーヤーが明らかにハーフウェイラインを越えない限り、全てに適用されるべきであるとしています。



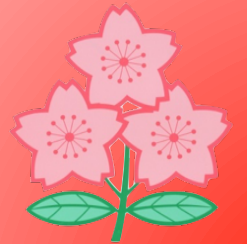
GOAL LINE DROP OUT



GOAL LINE DROP OUT

以下の場合には、スクラムや22mでのドロップアウトでなく、ゴールラインドロップアウトで再開する。

- 1) 攻撃側のプレーヤーによってボールがプレーされた、または、インゴールに持ち込まれ、相手側のプレーヤーによってグラウンディングできない状態になった（ヘルドアップ）、またはデッドになった（ボールをインゴールから蹴り出す、持ち出す）。
- 2) キックオフ、得点後の試合再開のキック、ドロップゴール、または、**ペナルティゴールを除く攻撃側のキック**が、防御側のチームによって自陣のインゴール内でグラウンディングされた。
- 3) 攻撃側のプレーヤーが、相手陣のインゴール内でノックオンした。



GOAL LINE DROP OUT

ドロップアウトを行うチームは、ゴールライン後方の任意の地点からキックを行うことができる。

キックするプレーヤーよりも前方に位置してはならず、後方からキックを追わなければならない。

ボールは5 mに達しなければならない。

キック行う相手チームは、5 mより前方に位置することはできない。

ボールが5 mに達しない場合は、キックのやり直し、**キックした地点から5 mでのキックを行った相手側チームの投入スクラム**、の選択となる。

ボールが直接タッチに出た場合には、1) キックのやり直し、2) スクラム (**キックした地点から5 mでのキックを行った相手側チームの投入**)、3) ラインアウト (5 m LO)、4) クイックスローイン、の選択となる。



GOAL LINE DROP OUT (JRFU共有)

ゴールラインドロップアウトの時ダイレクトタッチになった場合、再開方法のオプションで ラインアウトを選択した時の再開ポイントは5mでよいか？

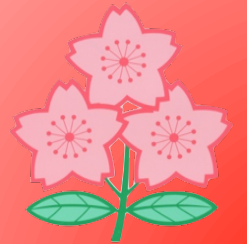
【回答】 GLから5mのラインアウト、攻撃側投入

攻撃側ボールキャリアがインゴールでグラウンディングする前にデッドボールラインを越えてしまった場合もゴールラインドロップアウトで再開か？

【回答】 22mドロップアウトでの再開

キックしたボールはゴロでも5Mを越えればOKか？

【回答】 キックオフ時と同様に考えるべき、達すれば良い。

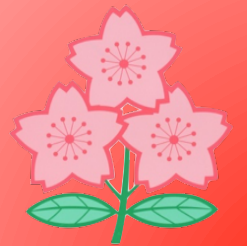


QUESTIONS (WR Referee meeting)

1. ゴールポスト下からキックする必要があるか? **いいえ、ゴールラインに沿ったどこからでもできる**
2. ボールはどれだけ移動しなければならないか? 5m? **ゴールラインドロップアウトはゴールライン後方から行い、5mラインを越えなければならない**
3. 防御側はどこに立たなければならないか? 5m? **最低5mラインより後方**
4. ボールが5m移動しなかった際、ゴールポスト前の5mスクラムで再開か? **攻撃側によるキックを蹴った位置に対向した5mスクラムか、キックのやり直し**
5. ボールが5m移動しなかった際、相手はそのボールをプレーしてトライできるか? **5mラインを越えなければ、アドバンテージが適用(12.17)され相手はボールをプレーしてトライできる。しかしながら、5mラインより前方にいて遅延させたり妨害すればPK (12.15)となり、キックされる前に5mラインを越えて前進した際はFK(law 12.14)となる**
6. 5mラインからスタートせず妨害したり、チャージダウンした際はPKか? **ドロップアウトを妨害した際はPK、5mラインを越えて前進した際はFK**
7. ゴールラインドロップアウトが直接タッチになった際、全てのオプション(スクラム、ラインアウト、キックのやり直し)はあるか? **全てある、ランアウトまたはスクラムはゴールラインから5mの位置で行われる。(スクラムの位置はキックを蹴った位置に対向した5m)クイックスローも可能 (12.13div)**
8. 味方が前方にいる状態(明らかに動かずに静止)でも素早くキックできるか、またはキッカーの後方に位置するまで待つべきか? **素早くキックすることができるが、オンサイドになるまで後退し続けなければならない**



Flying wedge



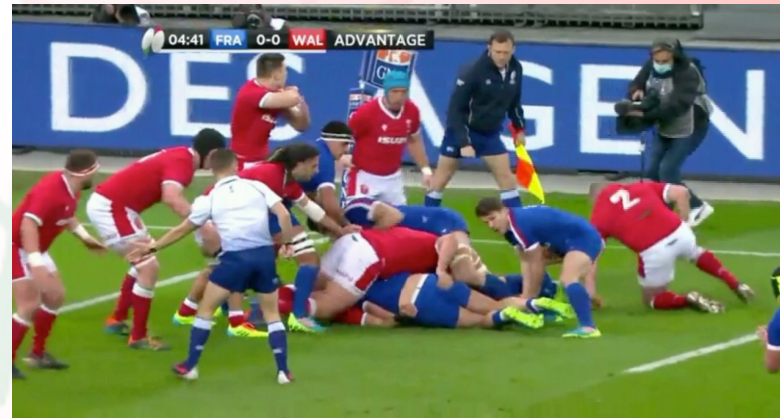
Flying wedge

Mini scrum

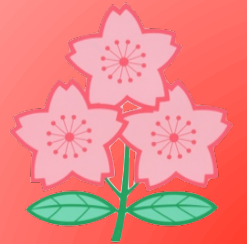
- 1) サポートするプレーヤーが2名以上付いて、スクラムのように進むことについて反則とする。
- 2) 1名がサポートすることは、容認する。



2 men latch (mini scrum)



1 man latch (pod)



Flying wedge (WR回答)

状況;

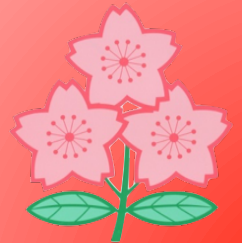
ラインアウトでモールを組もうとボールをキャッチしたプレーヤーの両サイドにバインドしたが、相手がモールの形成を放棄し、コンタクトしてこなかった。

質問;ボールキャリアを先頭にサイドに付いたまま進む事はできるか。

回答;もし、ボールが先頭にあり、プレラッチングしているプレーヤーが1名だけならば、できます。

質問;ボールキャリアを先頭に相手が入ってくるのを前進せずに待つことは可能か。

回答;はい、可能ですが、それをする理由がありません。



Flying wedge (JRFU見解)

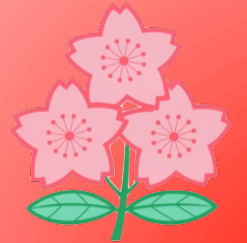
・3人がバインドではなく、ジャージを掴む程度(力は加わっていない)の場合も反則となるか？

また、腕をつっかえ棒のようにし力を加えている状況は反則となるか？

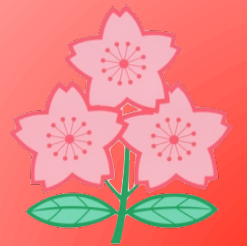
【回答】プレラッチとはバインドしていることを指すので、いずれも反則とはならない。

・ボールキャリアを含め3名がバインドして前進し、相手タックラーとコンテストする瞬間に攻撃側3名のうち1名が味方を前方に押し出しバインドを外した場合はプレーオンか？

【回答】ボールキャリアーを押し行為は危険なプレーとなります。



1-Player pre-latched



1-Player pre-latched

Latcher (ラッチャー)

サポートするプレイヤーが倒れ込むプレーも散見され、正当なコンテストを阻害している事象がある。

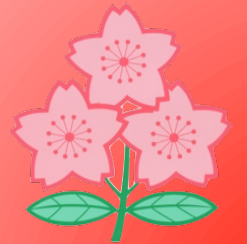
レフリーはコンテストを阻害しているのか、コンテストは正当に行われたのかを見極めなければならない。



倒れ込んでいる

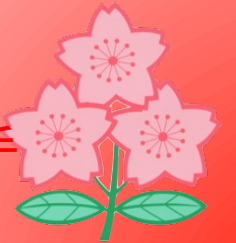


プレーオン

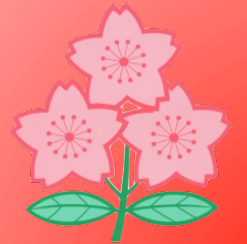


QUESTIONS (WR Referee Meeting)

1. ラッチャーがフィールドオブプレイでバインドしたが、インゴールでボールキャリアーの上に倒れ込んだ場合はPKか? ボールがゴールラインを越えていれば、倒れ込むことはできるのでプレーオン
2. ディフェンダーはラッチャーにコンタクトできるか? ラッチャーがボールキャリアーにバインドしている場合に限りできる
3. ディフェンダーはラッチャーにタックルできるか? Lawによれば、ボールポゼッションがないラッチャーにタックルはできない、
4. ラッチャーがグラウンドに倒れ込んだが、コンテストを妨げなくてもPKか? コンテストを妨げていなければ、PKではない。
5. コンタクト前にラッチャーがボールキャリアーをタックラーに投げた際は、危険なプレーとしてPKか?明らかに押しているのであればPKである
6. プレバインドの意味は?完全なバインド?コンタクト時だけ?片手で掴む? 片手での肩から手までのボールキャリアー胴体への完全なバインドを意味している



Cleanout and the safety of the jackler



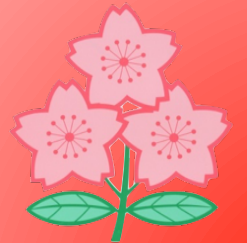
Cleanout and the safety of the jackler

ジャッカラ (Jackler) とは、

タックラーと同じチームのタックルに最初に到着したプレーヤーをいう。ボールを直接争奪するためには、立ったままでいなければならない。その前にタックルに参加していた場合は、ボールを争奪する前に、明らかにボールキャリアを放していなければならない。

ラックの争奪からジャッカラを排除することはできるが、体重をかけたり、相手の下肢を狙ったりしてはならない。

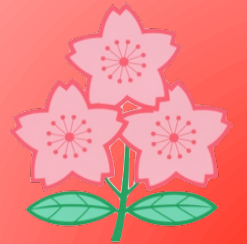
注意； 英文では、Lower limbs とあり、下肢と訳される部分と、ひざまたは膝より下と訳されている部分があり、確認中である。



Cleanout and the safety of the jackler

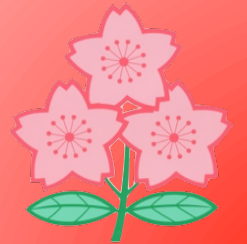
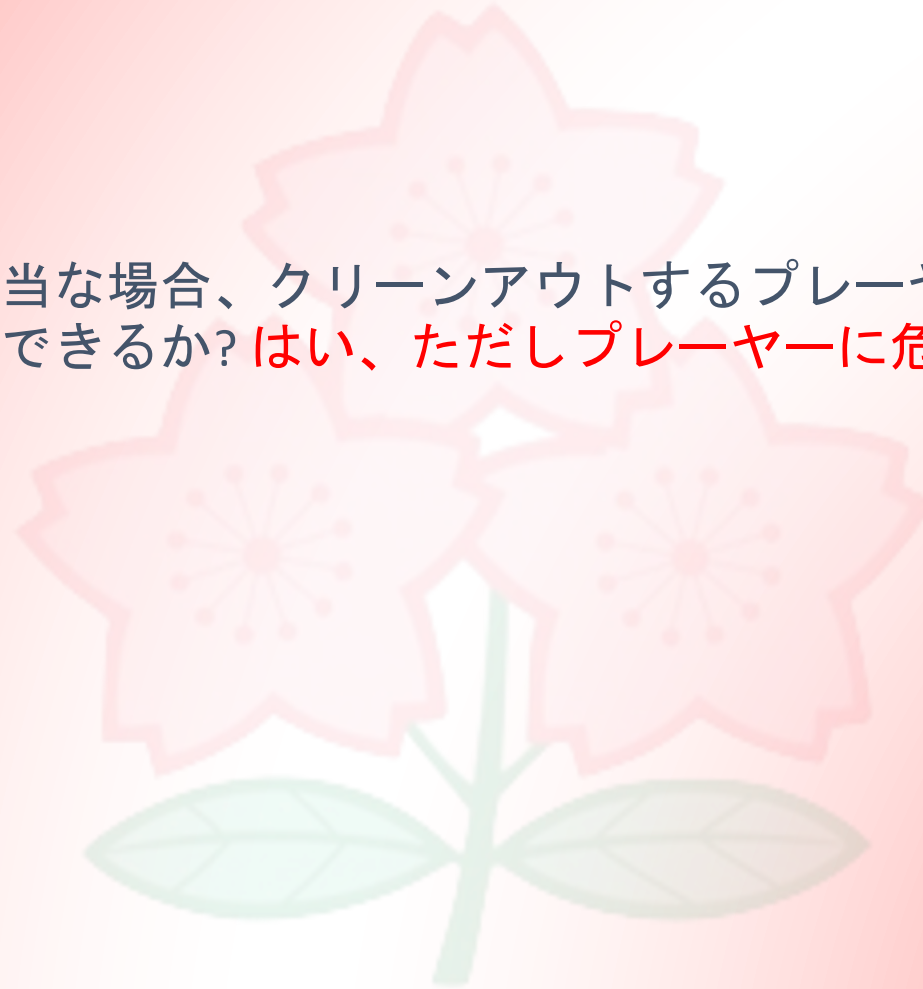
・ 下肢を狙ったプレーというのは、相手の足を持ち上げる行為や足を掴んでテイクアウトした場合も含まれるのか？それとも痛めつけるように狙ったコンテストのみが反則なのか？

【回答】 痛めつけるような行為を指すとしてします。

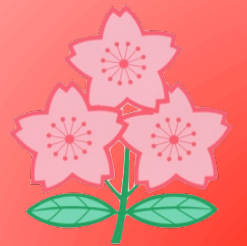


QUESTIONS (WR Referee Meeting)

1. エントリーの位置が正当な場合、クリーンアウトするプレイヤーはジャッカラーの足を持ち上げることはできるか? はい、ただしプレイヤーに危険が及ぶ行為は反則になります。



SEVENS



SEVENS

- 1) TMOがある大会においては、インゴールジャッジを置かなくてもよいことになる。（オリンピックでは不採用、インゴールジャッジを置く）
- 2) 延長戦になった場合は、入れ替えをもう 1 回追加する。（オリンピックでは採用）

